

# 日本地域福祉学会第34回大会（兵庫・西宮大会）

## 開催要項

### 大会テーマ

## 住民主体の理論と実践に立ち返る

—地域福祉の政策化の時代における地域福祉の不可避性と可能性を探る—

### 大会趣旨

今日、政策的には「地域包括ケアシステム」や「地域共生社会」が目指すべき社会像として掲げられ、2017年に改正された社会福祉法において、地域生活課題に対応するための包括的な支援体制づくり、地域福祉推進における行政の責務の明確化、地域福祉計画の努力義務化および分野別計画に対する上位計画化などに関する規定がなされた。

こうした動向は、日常生活圏域における地域住民主体の地域づくり、関係者のネットワーク化を通じた生活・福祉課題の解決などをめざすという点で、地域福祉の政策化といえる。しかしその推進方法を誤ると、「住民の資源化」や「トップダウンによる地域づくり」「公的責任の後退」など、これまで蓄積された地域福祉の基盤を揺るがしかねない危険性をはらんでいる。

兵庫県では、小地域福祉推進組織を基盤とした住民主体の小地域福祉活動が多様に展開され、阪神・淡路大震災の「ボランティア元年」を経て、NPO等と協働した新たな取り組みも広がっている。

本大会では、「住民主体の理論と実践に立ち返る—地域福祉の政策化の時代における地域福祉の不可避性と可能性を探る—」をテーマに、住民や社会福祉協議会、生活協同組合・NPOなどさまざまな団体による多様な地域福祉の実践、行政による自治的な政策に学びつつ、地域福祉が政策課題になっている状況をふまえた地域福祉推進における不可避性と可能性について考えたい。

期日： 2020（令和2）年6月20日（土）～21日（日）

会場： 6月20日 武庫川女子大学 公江記念講堂

6月21日 同 日下記念マルチメディア館ほか

6月19日 エクスカーション・プログラム \*4コース

主催：日本地域福祉学会、日本地域福祉学会第34回大会実行委員会

後援（予定） 兵庫県、西宮市、尼崎市、兵庫県社会福祉協議会、西宮市社会福祉協議会、尼崎市社会福祉協議会、芦屋市社会福祉協議会、宝塚市社会福祉協議会、伊丹市社会福祉協議会、川西市社会福祉協議会、三田市社会福祉協議会、猪名川町社会福祉協議会、神戸市社会福祉協議会、滋賀県社会福祉協議会、京都府社会福祉協議会、大阪府社会福祉協議会、奈良県社会福祉協議会、和歌山県社会福祉協議会、京都市社会福祉協議会、大阪市社会福祉協議会、堺市社会福祉協議会、兵庫県社会福祉士会、生活協同組合コープこうべ、関西学院大学、武庫川女子大学、関西福祉大学、関西国際大学、流通科学大学、兵庫県立大学、兵庫大学、神戸医療福祉大学、神戸女子大学、神戸学院大学、神戸親和女子大学、神戸女学院大学、豊岡短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、頌栄短期大学、神戸新聞社、サンテレビジョン、ラジオ関西

## ① スケジュール

【1日目】 6月20日（土） 【会場】 武庫川女子大学 公江記念講堂

9:15	10:15	10:45	11:45	12:45	15:45	16:15	16:30	18:00	18:10	19:40
受付	開会式	基調講演	昼食	大会企画 シンポジウム① 住民主体の理論と 実践に立ち返る	地域福祉優秀 実践賞表彰式	休憩	年次総会	移動	情報交換会	
					兵庫・開催校企画シンポジウム ソーシャルキャピタルで拓く 地域福祉					

【2日目】 6月21日（日） 【会場】 日下記念マルチメディア館ほか

9:00	9:30	11:00	12:45	13:45	16:30	16:45
受付	自由研究発表Ⅰ （口頭）		昼食・ 地方部会総会	自由研究発表Ⅱ （口頭）		閉会式
	ポスター 発表掲示			ポスター発表掲示（質疑） 13:45～14:45		
	優秀実践賞 報告 9:30～ 10:50	日韓学術 交流企画 11:00～ 12:45		大会企画シンポジウム② 地域福祉の源流を探り 地域福祉研究と実践の 展望を語る		
	社協企画シンポジウム 社協発！ 地域福祉実践研究の意 義と方法—研究と実践の循環を つくる—			開催校企画シンポジウム 社会福祉法人と大学、行政との協働 による福祉人材養成		

※ 「地域福祉優秀実践賞報告」は受賞者数により開始時刻が変更になる可能性があります。

## ② プログラム内容

基調講演 6月20日（土） 10:45～11:45

### 演題： 「伴走型支援の価値と方法」

厚生労働省では、「地域共生社会の実現」を今後の福祉改革を貫く基本コンセプトとして位置づけており、福祉政策の新たなアプローチとして、「伴走型支援」により生活していくうえで困難状況に置かれている住民を支援する視点が重視されている。

地域福祉推進においては、住民主体による福祉活動の推進が重要であるが、そうした活動がこれまで以上に必要とされる背景には、「社会的孤立」を核として多様な生活上の課題があるために、暮らしていくうえで困難な状況におかれている住民が増大してきているという問題がある。それだけにそうした複合化した生活課題を抱えている住民への直接的な支援のあり方を検討することは不可避の課題である。

そこで約30年にわたって北九州市でホームレスなど生活に困窮している人たちの支援を実践しており、「伴走型支援」の草分けとしてその必要性を提唱してこられた奥田氏より、伴走型支援の価値と方法について、具体的な実践状況をふまえて講演いただく。

登壇者： 奥田 知志 氏（認定NPO法人抱樸 理事長）

## ⑥ テーマ : 住民主体の理論と実践に立ち返る

### －地域福祉の政策化の時代における地域福祉の不可避性と可能性を探る－

大会テーマである「住民主体の理論と実践に立ち返る－地域福祉の政策化の時代における地域福祉の不可避性と可能性を探る－」について、地元兵庫から行政の立場として朝来市の総合政策課の馬袋氏、社会福祉協議会の立場として西宮市社協の清水常務理事、生活協同組合の立場としてコープこうべの山口理事長、そして研究者の立場としては学会副会長でもあり開催校を代表して松端氏からそれぞれ発題いただく。

それをもとに地域福祉を推進することがよりいっそう不可避な状況にあることを確認したうえで、そうした状況に responding していくためには、どのように現状を捉え、どのような政策なり実践が必要とされ、実際に地域福祉にはどのような可能性があるのかということを中心に議論する。

地域における多様な実践や行政による自治的な政策の状況などをふまえ、地域福祉における住民主体の理論と実践の意義を再検討し、地域福祉が政策的にも推進されている時代であるからこそ、住民主体で地域福祉を推進することの不可避性とその可能性について検討する。

シンポジスト	清水 明彦 氏	(社会福祉法人西宮市社会福祉協議会 常務理事)
	山口 一史 氏	(生活協同組合コープこうべ 理事長)
	松端 克文 氏	(武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科 教授)
	馬袋 真紀 氏	(朝来市 総合政策課 企画係長)
コメンテーター	宮城 孝 氏	(法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授)
	藤井 博志 氏	(関西学院大学 人間福祉学部 社会福祉学科 教授)
コーディネーター	原田 正樹 氏	(日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授)

## ⑥ テーマ : 地域福祉の源流を探り地域福祉研究と実践の展望を語る

このシンポジウムでは、今日、改めて地域福祉が各地での実践のみならず、政策においても、あるいは支援のあり方においても注目されている状況をふまえ、地域福祉の研究と実践の方向について、登壇者間での議論を通じて、その源流を探りつつ、これからのあり方を展望する。

2000年の社会福祉法において地域福祉の推進が明記され、私たちの生活においても、社会福祉の政策や自治体行政においても、そしてソーシャルワーク実践においても地域福祉が「主流化」してきたといえるのだが、20年が経過した今日からすれば、「主流化のその後」にはどのような展望が見いだせるのか。地域福祉を推進するうえで中核的役割を果たすことが期待されている社会福祉協議会は、それに応えることができたのか。また、地域における公益的活動が課題となっている社会福祉法人、あるいはNPOや生協、ボランティア団体なども含めて、地域福祉を推進していく主体は多様であるが、そうした主体はどのような状況にあるのか。地域福祉計画づくりとも関連づけて、住民の参加・参画を促し、地域を変えていくために社会福祉専門職は、どのような役割を果たしてきたのか。

こうした実践のありようのみならず研究はどうか。地域福祉では実践が先行するかたちで研究が進められる側面が強いといえるが、「実践研究の方法論」がいまだ確立しているとはいえない状況にある。こうしたことをふまえ、このシンポジウムでは地域福祉研究のあり方や学会の役割などについても議論する。

シンポジスト	武川 正吾 氏	(明治学院大学 社会学部 社会福祉学科 教授)
	和田 敏明 氏	(ルーテル学院大学名誉教授・日本地域福祉学会名誉会員)
	大橋 謙策 氏	(公益財団法人テクノエイド協会理事長・ 日本社会事業大学名誉教授・日本地域福祉学会名誉会員)
コーディネーター	上野谷 加代子氏	(同志社大学 社会学部 社会福祉学科 教授)

## 地域福祉優秀実践賞報告 6月21日(日) 9:30~10:50

2020年度第17回の日本地域福祉学会地域福祉優秀実践賞の受賞団体による報告をふまえて、フォーの参加者を含めてのディスカッションをするとともに、推薦委員によるコメントを行います。

報告 受賞団体  
司会・コーディネーター 松端 克文 (日本地域福祉学会地域福祉優秀実践賞選考委員長  
・武庫川女子大学 教授)

## 日韓学術交流企画 6月21日(日) 11:00~12:45

🌀 テーマ : 地域共生社会の実現に向けた社会福祉法人の経営の在り方  
—日本と韓国の比較の視点から—

本企画では、社会福祉法人が置かれている経営環境の変遷を踏まえたうえで、地域共生社会の実現に向けた社会福祉法人の実践戦略や経営の在り方について議論する。なお、日本と同じく、社会福祉事業を主な目的とする特別法人格として社会福祉法人制度を有する韓国との比較の視点から議論を深め、両国の社会福祉法人の今後の在り方を検討する。

日本側の発表 早坂 聡久 氏 (東洋大学 ライフデザイン学部 生活支援学科 准教授)  
韓国側の発表 調整中  
コーディネーター 呉 世雄 氏 (立命館大学産業社会学部 現代社会学科 准教授)  
コメンテーター 関川 芳孝 氏 (大阪府立大学 地域保健学域教育福祉学類 教授)

## 社協企画シンポジウム 6月21日(日) 9:30~12:45

🌀 テーマ : 社協発！地域福祉における実践研究の意義と方法  
—研究と実践の循環をつくる—

本プログラムでは、地域福祉の現場が自らの実践を見える化し、他者と共有し検証・発展するための方法を探ることをねらいとして、現場で活躍する社協ワーカーからの報告をふまえて議論を進める。

大きくは、次のような点を中心に議論を深めたい。

- ①現場発の実践研究とは何か (理論研究ではなく実践からの研究的志向の意義)
- ②現場発の実践研究の目的・効果
- ③現場が研究するための環境づくり  
—研究へのモチベーションづくり  
—研究者の発掘 (育成) と協働の作法・方法  
—組織における体制づくり (組織としての理解含む) 等

このように社会福祉協議会による地域福祉実践を「実践研究」という観点から捉え直し、見える化し、検証することで、実践のさらなる展開へとつなげていけるような研究と実践との循環のつくり方について検討する。

シンポジスト 文京区社会福祉協議会  
堺市社会福祉協議会  
名古屋市社会福祉協議会 等の社協職員  
コーディネーター 永田 祐 氏 (同志社大学社会学部社会福祉学科 教授)  
コメンテーター 小林 良二 氏 (東洋大学 福祉社会開発研究センター 客員研究員)

## 🌀 テーマ：ソーシャルキャピタルで拓く地域福祉

地域福祉は社会福祉のひとつの領域として捉えられがちだが、地域福祉が対象とする課題は広くまちづくりや地域づくり、地域活性化・地方創生などとも関連し、けっして「福祉」の枠内に収まるものではない。

そこでこのシンポジウムでは、地域福祉の対象とする課題を多文化共生やコミュニティ防災なども含めてより広くとるとともに、その解決のための手法についても、地域組織に加えてNPOや営利企業、ベンチャー企業など多様な団体との協働により、ソーシャルビジネスの考え方や方法も参考にしながら、ソーシャルキャピタルを鍵概念として、法制度や従来の認識の「枠組み」を外して、柔軟な発想で社会問題・地域における諸課題を解決していくためにどのような取り組みができるのかということについて議論する。

とりわけ義務的な「すべき」論ではなく、そこに関わる人たちが、企業なども含めて内発的に「したい」と思えるようなマネジメント手法などに焦点をあてて、実践と研究の双方から検討する。

シンポジスト	柏木 登起 氏	(NPO 法人シミズシーズ代表理事・一般財団法人明石 コミュニティ創造協会常務理事兼事務局長)
	吉富志津代 氏	(NPO 法人多言語センターFACIL 理事長・ 名古屋外国語大学世界共生学部 世界共生学科 教授)
	田原 伸介 氏	(関西学院大学人間福祉学部人間福祉研究科 助教)
コーディネーター	竹端 寛 氏	(兵庫県立大学 環境人間学部 社会環境部門 社会デザイン系 准教授)

## 🌀 テーマ：社会福祉法人と大学、行政との協働による福祉人材養成

生産年齢人口の減少、他業種への人材流出も懸念されるなか、福祉人材の養成・確保は、今後の福祉サービスの「量」と「質」の基盤構築には不可欠であり、全福祉分野における重要課題と位置付けられる。

本シンポジウムではこうした課題に応えるべく、社会福祉法人、関係団体、大学、行政、地域が一体となって福祉人材の養成・確保に取り組む事例の報告を受け、その意義と効果について議論していきたい。

京都府では、2016年度より「京都府北部福祉フィールドワーク事業」として、京都府北部(7市町)を中心に「福祉の学びの環境」を創り、福祉施設・自治体・医療施設・教育機関などが協働してまちぐるみで学生の実習や研修を受け入れの取り組みを行っている。

北海道での北星学園大学でも同様の取り組みが始められていることから、こうした取り組みに学びつつ、兵庫県において、丹波市を中心に社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット丹波)と武庫川女子大学、そして行政や関係団体等との協働により、地域の活性化も見据えた福祉人材養成の仕組みの構築に向けて課題や必要とされる方策等について議論する。

シンポジスト	五嶋 仁 氏	(京都府北部福祉フィールドワーク事業コーディネーター)
	澤村安由里 氏	(社会福祉法人山路福祉会特別養護老人ホーム山路園 施設長)
	山田 英孝 氏	(北海道・津別町社会福祉協議会 事務局長)
	槌谷 顕祐 氏	(兵庫医科大学ささやま医療センター 課長補佐)
	畑 亮輔 氏	(北星学園大学社会福祉学部 福祉臨床学科 准教授)
コーディネーター	増田 和高 氏	(武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科 講師)
コメンテーター	諏訪田克彦 氏	(武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科 准教授)

## エクスカーション・プログラム

(旅行契約には該当しません)

尼崎コース

6月19日(金) 15:00~18:00

### 🕒 「子ども食堂」でつくる居場所と地域のネットワーク

子どもへの食事提供にとどまらず、幅広い年齢層が集まる交流と支え合いのネットワークづくりが尼崎市内各地で展開されています。それらを支える基盤となる施策や事業を含めてご紹介します！

- 場 所 尼崎市内2か所の子ども食堂、子どもの育ち支援センター
- 定 員 16人
- 参加費 無料 ※但し、食事体験を希望される場合は300円を頂きます。
- その他 15時にJR尼崎駅集合後、主催者が手配する車で移動します。

西宮コース

6月19日(金) 14:00~17:00

### 🕒 共生のまちづくりに向けた「つどい場」実践

障害当事者を中核に、子どもから高齢者を含めた地域住民のつながりや役割づくりの活動を展開しています！共生のあり方を一緒に探りませんか？

- 場 所 地域共生館「ふれぼの」(西宮市社協運営)
- 定 員 30人
- 参加費 無料 ※但し、説明会時の飲み物(コーヒー等)代100円を頂きます。
- その他 14時に地域共生館「ふれぼの」1階に集合いただきます。

宝塚コース

6月19日(金) 14:00~17:00

### 🕒 市民がつくる！ボランティア・障害者就労・多世代交流の拠点づくり

共生社会とつながりづくりを目指した活動拠点において、ボランティア活動、障害者の就労、多世代間の交流など市民で考え、創りだした実践をご紹介します！

- 場 所 宝塚福祉コミュニティプラザ(財団ぶらざこむ運営)
- 定 員 30人
- 参加費 1,000円 ※ケーキセットとお土産のコーヒーセットを含みます。
- その他 14時に宝塚福祉コミュニティプラザ1階に集合いただきます。

武庫女コース

6月19日(金) 15:00~17:00

### 🕒 「甲子園会館」見学ツアー

甲子園会館(旧甲子園ホテル)は、日本に残る数少ないライト式の建築であり、近代化産業遺産および登録有形文化財に登録され、現在は建築学部のキャンパスとして活用されていますが、映画の撮影などにも使われています。日本の伝統美と壮麗な洋風建築とが調和した異空間をぜひご堪能ください！

- 場 所 武庫川女子大学・上甲子園キャンパス・甲子園会館
- 定 員 30人
- 参加費 無料
- その他 現地に15時に集合いただきます。

### ③ 自由研究発表申し込み

1 申込方法：	<p>口頭発表とポスター発表のいずれかで大会専用ホームページからお申し込みください。受付業務は、東武トップツアーズ神戸支店に委託しております。申し込みを受付次第、東武トップツアーズ神戸支店から<b>申込確認メールが送られます</b>。2～3日たっても確認メールが届かない場合は<b>必ず東武トップツアーズ神戸支店にお問い合わせください</b>。</p>
<p>日本地域福祉学会第34回大会専用ホームページ：<a href="https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/34fukushi/">https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/34fukushi/</a></p> <p>※受付開始は2月下旬を予定しております。</p> 	
2 発表申込：	<p>発表申込締め切り：<b>2020年3月20日（金）24時締切</b></p> <p>申込には、演題と要旨集レジュメの登録が必要になります。原稿は下に説明する「自由研究発表の原稿様式」に基づき作成してください。原稿は①研究の目的、②研究の方法、③倫理的配慮、④結果・考察という基本的な枠組みを示して執筆してください。結果・考察について「当日資料配布」という未完成原稿は認められません。</p> <p>※申込時に大会ホームページから「自由研究発表チェックリスト」（10 ページ参照）をダウンロードして、要旨集レジュメと一緒に提出してください。</p>
<p><b>自由研究発表の原稿様式（フォーマット例は9ページ参照）</b></p> <p>① 1発表につきA4 縦1枚（横書き） ② 余白上下25mm 左右20mm ③ 文字数 1ページ40字×40行</p> <p>④ フォント 主 題：12ポイント MSゴシック・中央揃 副 題：10.5ポイント MSゴシック・中央揃 氏 名：10.5ポイントMS明朝 所 属：会員番号：9ポイントMS明朝 見出し：11ポイント MSゴシック 本 文：10.5ポイント MS明朝（だ・である調で記入）</p> <p>⑤ 記述内容： 1. 研究の目的、2. 研究の方法、3. 倫理的配慮、4. 結果・考察</p>	
3 要旨書式：	<p>要旨集レジュメの様式は、大会用ホームページからダウンロードできます。必ず所定の書式に従って提出してください。提出された原稿は、研究倫理、様式等を確認した上で、版下として印刷・製本されます。</p>
4 発表資格：	<p>日本地域福祉学会員であることが条件です。なお、以下についてのルールが守れないと発表資格が無いと判断されることがありますのでご注意ください。①発表者は、<b>2020年3月末現在、日本地域福祉学会の会員として理事会で承認されていること</b>（3月末までに新入会が認められた場合、4月末までに入会金、会費を支払うこと）が前提です。②発表の<b>要旨集レジュメに、必ず会員番号をご記入ください</b>。共同研究報告で1名でも会員番号の記載が無ければ発表要旨の受理ができません。（入会申請中の場合は、入会申請中と記入してください。入会が認められ次第、会員番号をお知らせしますので、後日会員番号の記入をお願いします）。③発表の申し込みをした会員は<b>2020年5月8日（金）</b>までに大会参加費をお支払いください。④2019年度分までの学会費は事前に必ず納入しておいてください。</p>
5 発表件数：	<p>筆頭発表者（ファースト・オーサー）は1演題に限ります。したがって、演題の申し込みは必ず筆頭発表者が行ってください。演題の申込者と筆頭発表者が異なる場合は受理できません。なお、筆頭発表者は発表とは別に、他の研究発表等で共同研究者として名前を連ねることは可能です。</p>
6 要旨確認：	<p>倫理的配慮等の観点から原稿の修正等を求めることがあります。修正を求められた場合には、修正コメントに基づいて指定した期日までに再提出をしてください。再提出がされない場合には、発表を受け付けられません。※「自由研究発表」および「ポスター発表」申込者は、「自由研究発表チェックリスト」（10ページ）を用いて、倫理的配慮等についてチェックしてください。</p>

7 分科会：	自由研究発表（口頭）を申し込まれる場合には、次のリストの中から、希望する分科会（第1希望・第2希望）をお選びください。
第1分科会	<b>理論・歴史</b> 地域福祉に関する理論・歴史
第2分科会	<b>制度・政策、権利擁護</b> 地域福祉に関する諸制度、政策、成年後見等の権利擁護等
第3分科会	<b>主体・提供組織</b> 行政、社協、ボランティア・NPO、住民組織、社会起業等
第4分科会	<b>対象・対象者</b> 高齢者、障害者、児童、生活困窮者、外国人等
第5分科会	<b>地域福祉（活動）計画、運営管理</b> 地域福祉計画、地域福祉活動計画、運営管理、評価等
第6分科会	<b>地域福祉の諸活動</b> 小地域福祉活動、見守り活動、サロン・居場所づくり活動等
第7分科会	<b>地域福祉の方法</b> ケアマネジメント、ネットワーク、コミュニティソーシャルワーク等
第8分科会	<b>福祉教育・福祉文化</b> 学校教育、社会教育、ボランティア学習等
第9分科会	<b>社会福祉施設・社会福祉法人</b> 社会福祉施設、社会福祉法人による地域における公益的な取組等
第10分科会	<b>災害と地域福祉</b> 災害時要配慮者支援、福祉避難所支援、災害ボランティア支援等

#### ④ 発表方法

1. 自由研究発表（口頭）	
① 発表時間：	1発表につき25分（発表15分、質疑10分）となります。
② 発表方法：	<u>パワーポイント等の映写目的のプロジェクター及びその他の視聴覚機器の使用はできません。</u> あらかじめご了承ください。
③ 配布資料：	当日の配布資料がある発表者は、50部を目安に当日持参してください。大会事務局では、印刷・コピー業務は対応できませんのでご注意ください。また配布資料の作成にあたっては、日本地域福祉学会の「研究倫理規程」を十分確認してください。
④ 資料配布：	当日配布資料は、発表開始15分前までに会場の係員にお渡しください。資料は、発表の直前に係員より会場の参加者に配布されます。
2. ポスター発表	
① 掲 示：	ポスター発表会場内の所定の場所（後日指示します）へ、6月21日（日）9：30までに持参ポスターを各自で掲示してください。掲示範囲は縦180cm・横90cmです。またポスター作成にあたっては、日本地域福祉学会の「研究倫理規程」を十分確認してください。
② タイトル：	ポスター最上部に、発表タイトル・発表者名・所属を明記してください。
③ 質疑応答：	ポスター発表者は、6月21日（日）13：45～14：45の時間帯は、必ずポスター発表会場に在席して、参加者からの質疑に答えてください。





## ⑤ 自由研究発表チェックリスト

### 日本地域福祉学会自由研究発表エントリーチェックリスト

会員番号		氏名	
------	--	----	--

以下の内容に間違いがないことを確認した上で、研究倫理に配慮した報告を行います。

No.	チェック項目	チェック欄
1	発表要旨が指定の書式（文字の大きさ・字体・余白等）で作成されている。	
2	研究の目的・方法・倫理的配慮・結果・考察が記載されている。	
3	共同研究の場合、筆頭報告者に○印がついている。	
4	共同研究の場合、全員が学会員である（入会申請済でも可）	
5	当事者あるいは責任ある立場の者から研究協力の同意を得ている。	
6	当事者あるいは責任ある立場の者から学会報告の承諾を得ている。	
7	文献や資料を引用している場合、出典が明記されている。	
8	差別的表現や社会的に不適切な用語が使用されていない。	
9	発表内容は他の学術学会での発表と多重報告ではない。	
10	当日配付予定の資料や掲示物等においても研究倫理に配慮する（発表時に再確認する）。	
11	倫理的配慮の内容を発表要旨に記載しきれない場合、以下に記載してください。	
12	その他、発表に関して特記事項がある場合、以下に記載してください。	

## ⑥ 大会参加申し込み (参加費、情報交換会・昼食・エクスカージョンは旅行契約には該当しません)

1 申込方法：大会専用ホームページからお申し込みください。受付業務は東武トップツアーズ神戸支店に委託しております。なお、保育や手話通訳等をご希望の方は、大会専用ホームページで詳細をご確認の上、お申し込みください。

日本地域福祉学会第34回大会専用ホームページ：<https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/34fukushi/>

※受付開始は2月下旬を予定しております。



2 申込期間：事前申込締め切り

**2020年5月8日(金) 24時締切**

3 参加費：

会員・非会員 事前申込	8,000円
会員・非会員 当日申込	10,000円
大学院生	4,000円
学部学生	無料

※非会員、大学院生の1日みの参加は半額となります。  
 ※当日、大学院生と学部生は学生証を提示してください。  
 ※申し込み後の返金には一切応じられませんので、あらかじめご了承ください。

4 情報交換会：会場は、武庫川女子大学・公江記念講堂の地下1階学生食堂「アゼリア」  
 情報交換会の参加費は以下になります。当日のお申し込みはできません。  
 事前申し込み 5,000円 (定員 200名)

5 昼食：昼食としてお弁当を事前に申し込むことができます。当日のお申し込みはできません。  
 1日目・2日目 お弁当(お茶付税込) 1食につき 1,000円  
 会場である武庫川女子大学の周辺に、コンビニは数軒ありますが、混雑が予想されるため持参するか、できるだけ事前にお申し込みください。

6 宿泊：宿泊は、東武トップツアーズ(株)神戸支店が企画・実施する募集型企画旅行です。  
 詳細は、大会専用ホームページの「宿泊のご案内」をご確認の上お申し込みください。

7 エクスカージョン：  
 6ページ参照の上、大会専用ホームページからお申し込みください。

8 参加申し込みについての問い合わせ  
 東武トップツアーズ(株) 神戸支店  
 〒651-0087 神戸市中央区御幸通 6-1-20 ジイテックスアセントビル3階  
 TEL：078-221-1100 FAX：078-221-1567  
 担当：尾山・泉田  
 営業時間：平日 9:30~17:30 (土日祝日休業)  
 e-mail：fukushi-hyogo34@tobutoptours.co.jp

## ⑦ 大会に関する問い合わせ先

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町 6-46  
 日本地域福祉学会第34回大会 事務局：武庫川女子大学 堀、半羽 (はんぱ)  
 大会事務局専用メールアドレス：annualmeeting34@gmail.com

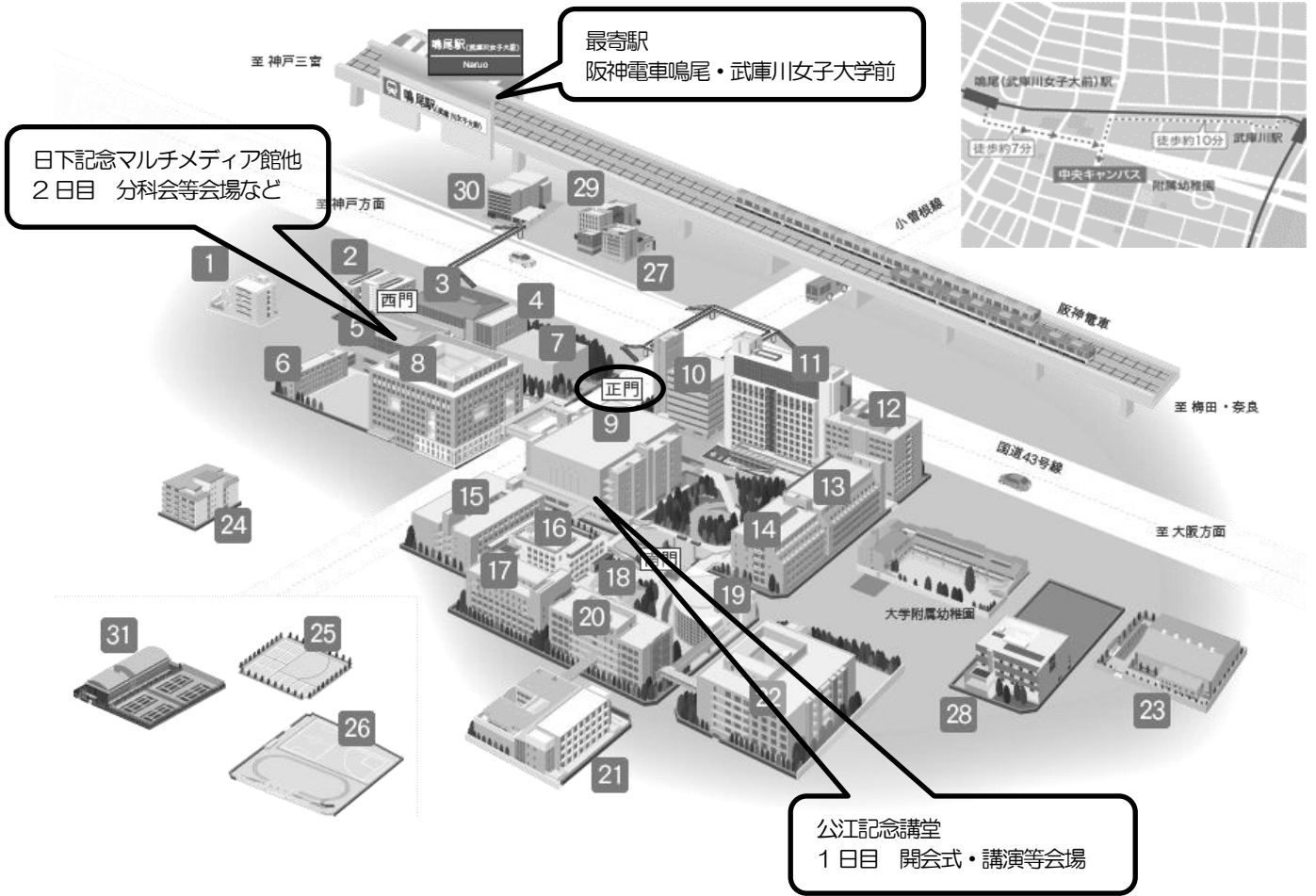
※ 大会に参加する上で、「託児サービス」または「要約筆記サービス」「点訳筆記サービス」などコミュニケーションを図るうえでの対応が必要な方は、参加申込時に大会事務局までご連絡ください。

## ⑧ 会場アクセス <※必ず正門からお入りください>

公共の交通機関を利用してご来場ください。ただし、配慮が必要な方で車を使用する場合は事前にご相談ください。

### 武庫川女子大学アクセス・キャンパス（講堂・マルチメディア館）

中央キャンパス 〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46 TEL 0798-47-1212（代表）



### 主要駅（鳴尾・武庫川女子大前）まで

